

## 平成 21 年度 研究協力委員会 活動報告

平成 21 年度は 3 つの活動目標を掲げて、若手研究者交流会や共同研究の推進、競争的研究推進事業への応募などを柱とした活動を推進した。

### <活動目標>

- (1) 大学シーズと企業ニーズの融合
- (2) 若手研究者の交流
- (3) 共同研究の推進

### <活動成果>

- ・平成 21 年度広島大学日本ハム研究協力委員会を開催
- ・第 2 回若手研究者交流会を開催
- ・共同研究「食肉および動物性素材がもつ心血管疾患予防効果ならびに美容効果に関する研究」を推進
- ・共同での研究成果の発信、競争的研究推進事業への応募など

### <活動概要>

- (1) 大学シーズと企業ニーズの融合

本年度も広島大学および日本ハムの責任者と担当者を交えたグループ討議を通じて、情報を共有化し、大学シーズと企業ニーズの融合化を推進した。

#### 平成 21 年度「広島大学日本ハム研究協力委員会」

日時：平成 21 年 10 月 22 日（金）15：30～17：00

会場：広島大学大学院 生物圏科学研究科 ミーティングルーム

議事次第：

- ①平成 21 年度活動内容の報告
- ②第 2 回若手研究者交流会の報告
- ③平成 21 年度共同研究内容の進捗報告
- ④来年度以降の活動内容に関する協議など

- (2) 若手研究者の交流

#### 第 2 回「若手研究者交流会」

日時：平成 21 年 10 月 22 日（木）13：15～15：15

会場：広島大学大学院 生物圏科学研究科 会議室

交流内容：日本ハム(株)の研究業務を紹介した後、同若手研究員と研究科博士課程および修士課程在籍生との活発な意見交換を行った。

(3) 共同研究の推進

【研究題目】

「食肉および動物性素材がもつ心血管疾患予防効果ならびに美容効果に関する研究」

【研究担当者】

広島大学大学院生物圏科学研究科：田辺創一

日本ハム(株)中央研究所：河口友美、佐藤三佳子、高畑能久

(4) 研究成果の発信

【学会発表】

「鶏コラーゲンペプチド (C-COP) による血管炎症抑制作用」、河口友美、高畑能久、森松文毅、田辺創一、第 62 回日本臨床栄養学会・日本臨床栄養協会総会第 7 回大連合大会（神戸市）講演要旨集 p.187

(5) その他

- ※ 平成 20 年度活動報告および第 2 回若手研究者交流会の状況を研究科ホームページと日本ハム(株)中央研究所ホームページに掲載した。
- ※ また、広島大学、日本ハム(株)、京都府立大学が、生研センターによる「イノベーション創出基礎的研究推進事業」に共同で応募した。

以上